

授業科目名		担当講師名		対象学年	
臨床看護技術		池田 恵子・根本 洋子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1(45)	教室・実習室	前期～後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	主要症状のある患者の事例についてグループ学習を行い援助計画を立案し、発表(プレゼンテーション)を行う。発表内容について他者評価を行い、技術の振り返りと共通理解をする。				
到達目標	健康障害を持つ対象を理解し、主要症状・治療処置等の状態に応じて、根拠をふまえた看護技術を適応する基礎を習得できる。				
事前学習	発熱、疼痛、呼吸困難、浮腫、易感染、出血傾向、麻痺、骨折、排尿困難				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	講義：発熱、動悸、呼吸困難、易感染の患者 課題の事例紹介
2	GW：事例学習・計画立案
3	上記患者のバイタルサイン測定演習
4	・発表(4グループ)事例の理解と技術の発表および評価
5	講義：痛み、浮腫、出血傾向の患者 課題の事例紹介
6	GW：事例学習・計画立案
7	上記患者の足浴及び更衣演習
8	・発表(4グループ)事例の理解と技術の発表および評価
9	講義：咳・痰、嚥下障害、悪心の患者 課題の事例紹介
10	GW：事例学習・計画立案
11	上記患者の口腔ケア・安楽な姿勢の演習
12	・発表(4グループ)事例の理解と技術の発表および評価
13	講義：麻痺、骨折、貧血の患者 課題の事例紹介
14	GW：事例学習・計画立案
15	上記患者の車イスへの移乗・ポータブルトイレでの排泄演習
16	・発表(4グループ)事例の理解と技術の発表および評価
17・18・19・ 20	排尿困難のある患者の援助 一次的導尿・膀胱留置カテーテル演習、学生間での技術チェック
21・22	技術試験
23	終講試験(筆記試験)
履修上の要件	基礎看護技術の共通基本技術Ⅰ・Ⅱ・日常生活援助技術・ヘルスアセスメントが終了していること。
テキスト、教材、 参考書	基礎看護学別巻 看護技術の患者への適応/メヂカルフレンド社 症状別看護過程の展開、看護技術プラクティス/学研
成績評価の方法	筆記試験、実技試験
備考	